

# 減災館5年 – 平成の災害教訓を振り返り 令和の減災社会実現を目指す –

平成の時代、日本では大規模な自然災害が多発し、防災・減災に関する考え方も大きく見直された。国、自治体や大学が啓発・教育などの取り組みを積極的に開始する中で平成26年に減災館が建てられ、5年が経過した。令和元年において、今一度、平成の災害教訓を振り返り、減災社会の実現に向けて今後必要な防災関連機関の取り組みを展望する。

日時：2019年6月14日（金）13:30～17:30

場所：名古屋大学減災館1階 減災ホール

## 講演：

- |                      |                          |
|----------------------|--------------------------|
| (1) 内閣府の国民運動が提起した問題  | 西川 智（名古屋大学）              |
| (2) 阪神・淡路大震災からの動き    | 池田 亨（兵庫県人と防災未来センター）      |
| (3) 平成の災害教訓と静岡県の防災対策 | 植田達志（静岡県危機管理部）           |
| (4) 防災専門図書館の63年の歩み   | 矢野陽子（全国市有物件災害共済会防災専門図書館） |
| (5) 減災館5年の到達点と課題     | 隈本邦彦（名古屋大学客員、江戸川大学）      |

## パネルディスカッション：「減災社会の実現に向けた取り組み」

コーディネーター：中川和之（時事通信社）

パネリスト：上記講演者 および

藤原広行（名古屋大学客員、防災科学技術研究所）、福和伸夫（名古屋大学）

※ 事前申込不要、入場無料

※ 自動車の駐車場はありません。必ず公共交通機関をご利用下さい。